

福岡のバイオエコシステム構築に向けた取り組み

活動の概要

福岡県は、①国際交流が盛ん（アジアの玄関口）、②オールドバイオ技術の発展、③医療系・バイオ系の大学・研究機関の集積、といった特徴をもつ。これらのポテンシャルを活かし、2001年に産学官で構成する「福岡県バイオ産業拠点推進会議」を設立。その取り組み成果が評価され、内閣府より地域バイオコミュニティに認定されたことを契機に、2022年に「福岡バイオコミュニティ推進会議」へと発展的に改組。次世代創薬・再生医療・バイオものづくり・機能性食品の分野を中心に、社会課題解決に資する技術を早期に実用化・社会実装できるバイオエコシステムの構築を目指し取り組んでいる。

活動の特徴

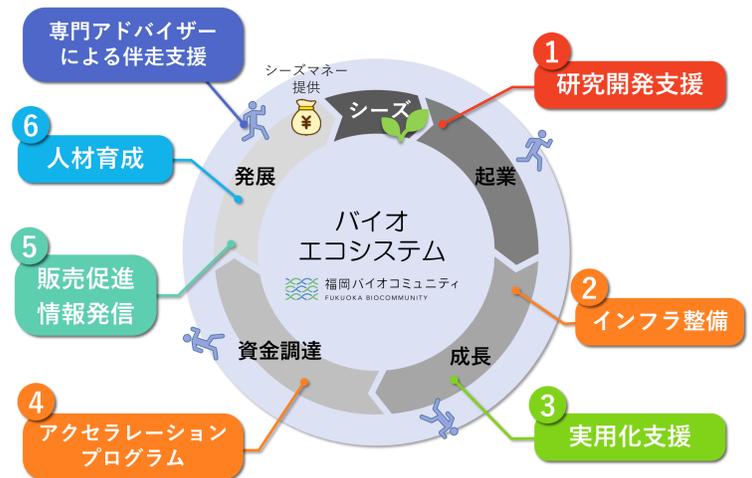
① 産学官金の強固なネットワーク

福岡バイオコミュニティ推進会議は、鈴木蘭美会長を筆頭に強力な推進体制のもと、九州大学や久留米大学などの県内大学や研究機関、食品・医薬品など様々な企業、銀行やVCなどの金融機関、行政が参加する、産学官金の強固なネットワーク基盤を作っている。また、他のバイオコミュニティをはじめ、国内外の様々な機関との連携を進めている。これらの広範なネットワークを活用して、県内のバイオ関連企業の支援を行っている。



② シーズ段階から研究開発・製品化・販売促進までステージごとの支援プログラム

福岡バイオコミュニティでは、バイオエコシステム形成を目指し、シーズ段階から企業のステージごとに切れ目のない支援を行っている。①研究開発助成金や、②安価に借りられるラボや実験機器の提供、③研究成果の社会実装に向けた製品化支援、④資金調達に関する支援、⑤研究成果や製品のPRの場の提供、⑥セミナー等による人材育成まで、企業の成長に必要な支援を取り揃えている。また、12名の専門アドバイザーの伴走による、企業のニーズに寄り添ったきめ細やかな支援も強みである。



今後の方向性・課題等

バイオベンチャーやスタートアップの成長には「人材の確保」と「資金調達」が必要である。しかしこれらは、大都市圏に集中し、地方・福岡では課題となっている。解決には福岡バイオコミュニティから多くの成功例を生み出すことで、様々なプレイヤーを呼び込み、ヒト・モノ・カネが好循環する、魅力的なエコシステムを形成することが必要不可欠であり、これまでに解決に向けて積極的に取り組んできたが、なお一層の努力が必要である。これからも福岡で生まれ・成長した企業がさらに大きく飛躍できるような支援策を提案していきたい。我々の活動に賛同し、ご協力いただける方は、ぜひご連絡をお願いします。一緒に、世界に誇れる日本のバイオ産業を作っていきましょう！



福岡バイオコミュニティ推進会議

福岡県久留米市百年公園 1-1

(事務局：(株)久留米リサーチ・パーク)

TEL : 0942-37-6124

MAIL : fbv@kurume-rp.co.jp

WEB : <https://www.fbv.fukuoka.jp/>

